

# 演者と巡る世阿弥

講師 味方玄 (観世流シテ方)

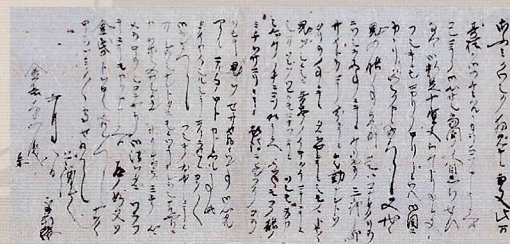
久田舜一郎 (大倉流小鼓方)

生駒山宝山寺所蔵の世阿弥伝書、禅竹伝書を参考に、世阿弥の生涯と業績をたどり、そのゆかりの地もめぐり、世阿弥生誕650年を機にスタートした講座です。毎回世阿弥作や、その関連の曲を取り上げ、講師お二方による実演もふくめたわかりやすい解説もうかがえます。

第二十四回 2025年 3月22日 (土)

生駒山宝山寺と世阿弥関係文書

一禅竹宛書簡『佐渡状』を巡って一



宝山寺本堂



獅子閣 (重文)

■受講料 1回 一般 4,500円 (アカデミー会員 4,100円)

\*資料費・保険料込み

\*交通費・拝観志納料・お食事代等は、別途各自のご負担となります。

◆生駒山宝山寺様のご配慮により、当講座のために特別に貴重資料を公開していただきます。また通常非公開の洋風建築の客殿「獅子閣」(重文)も特別に見学させていただきます。

宝山寺が有する数々の寺宝の中で異彩を放つのが、世阿弥自筆の能本を含む金春家伝来の能楽関係の伝書で、第十五代管長隆範和上が金春宗家の兄であった縁で移管されたものだ。現存する世阿弥自筆の能本は9点の内、そのうち金春家に伝来した5点が宝山寺所蔵となっているが、その他に世阿弥が娘婿、金春禅竹に宛てた書簡2点が残されている。

そのうち世阿弥が佐渡から禅竹に送った、通称『世阿弥佐渡状』と呼ばれる書簡には六月八日の日付があり、佐渡配流の翌年、永享七年(1435)のものと思われる。禅竹からの「鬼の能」についての問いに答える件もあり、配流地にあつて禅竹の芸に意をくだく世阿弥の姿が窺える。配流後の行方や没年にも諸説あり、依然として謎に包まれたままの世阿弥晩年の足跡を知る最後の貴重な資料を目の当たりにする。



味方玄 (観世流シテ方)

父、味方健、片山幽雪、十世片山九郎右衛門に師事。KBS京都テレビ「能三昧」監修・演出・出演。2003年新作能「待月」を制作し、脚本・演出・シテを勤める。青嶂会他、独自の舞台世界創作のためテアトル・ノウを主宰。初回1996年、京都の十念寺における、蠟燭や篝火の光や風も効果的に演出された古風な形の能が好評を博す。近著に『能へのいざない』など。2004年京都府文化奨励賞、2022年「観世寿夫記念法政大学能楽賞」、2023年「京都府文化賞功労賞」など受賞。重要無形文化財総合指定保持者。



久田舜一郎 (大倉流小鼓)

1961年大倉流宗家・故大倉長十郎師に入門。京阪神を中心に能楽五流の舞台に出演、海外公演参加多数。異ジャンル音楽とのセッションなど、能の現代性を追及する試みも積極的に行う。長女陽春子も女性では珍しい大倉流小鼓方の若手ホープとして活躍中。1998年日本文化芸術奨励賞受賞。2011年兵庫県文化功労表彰、神戸文化活動功労賞受賞。2017年兵庫県文化賞受賞。重要無形文化財総合指定保持者。西宮在住。

- \* 大体の行程(予定)については裏面をご覧ください。詳細は開催日の一か月前までに申込者にご案内いたします。
- \* 講座終了後、講師を囲んでお食事をいただきます。日本料理の仕出し(2500円程度)は当方でご手配いたします。
- \* お申込み方法、アカデミー会員の詳細は裏面をご覧ください。



白鷹緑水苑

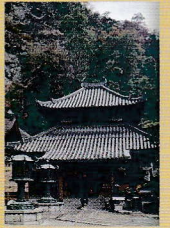
〒662-0926 兵庫県西宮市鞍掛町5-1  
TEL0798-39-0235 FAX0798-39-0236  
E-mail: rokusuien@hakutaka.jp  
URL: <https://hakutaka.jp/shop.html>



■「演者と巡る世阿弥」2025年 3/22行程(予定) \*お申込者には、改めまして確定後の詳細をご案内させていただきます。

9:00 近鉄奈良線 生駒駅 中央改札口 集合  
 9:20 ケーブル線 鳥居前駅から宝山寺駅へ。 \*生駒集合の後、御寺までタクシー利用も可能です。  
 9:25 宝山寺駅 徒歩で宝山寺へ(約10~15分)  
 9:40 生駒山宝山寺の参集殿「和光殿」広間へ  
 9:50 和光殿にて講義 禅竹宛書簡「佐渡状」を巡って  
 自筆本を間近で拝見するとともに、講師お二人による、演目にまつわるお話と実演をお聴きします。  
 12:15 講師を囲んでのお食事  
 \*当方で日本料理の仕出し(2,500円程度)をご用意いたします。  
 13:15 希望者はお寺の方のご案内により「獅子閣(重文)」を特別にご見学いただけます。  
 13:30頃 各自境内参拝後自由解散 \*ケーブルは1時間に3本、20分間隔で出ています。

◆本講座でご協力いただく《生駒宝山寺》について◆



真言宗に属する大本山で、役行者修行の霊窟、「般若窟」に古く起源する葛城修行の霊場であったといわれる。その岩場は延宝6年(1678)、宝山湛海律師の入山によって中興され、般若窟に弥勒菩薩を安置し、不動明王を中尊とする本堂と歓喜天を祀る聖天堂を中心として、生駒山東斜面中腹の急傾斜地に諸堂を配置する。歓喜天は「生駒の聖天さん」と通称され、商売の神様として大阪を中心に京阪神で広く信仰を集める。

■「演者と巡る世阿弥」受講について 入会金不要、どなたでもご参加いただける特別公開講座です。

申し込み用紙にご記入の上、事前に祿水苑までお申し込みの後、二週間以内に受講料のお振込み、あるいは祿水苑カウンターにてお支払いをお願いしております。

＜お振込み先＞ 三菱UFJ銀行 西宮支店 普通5065562 ハクタカロクスイエン  
 (恐れ入りますが、振込み手数料はご負担願います。)

\*予約手配の都合上、開催日から数えて14日前までにご入金いただきますよう、お願いいたします。(空席がある場合は期日を切った後のお申し込みにも対応させていただきます。)

\*期日内のご入金が確認できず、お申込者と連絡のつかない場合は、ご予約いただいてもキャンセル扱いとさせていただきますので、あらかじめご了承ください。

\*ご入金後のご返金はいたしかねますのであらかじめご了承ください。万が一ご欠席の場合、代理の方のご参加をお願いいたします。

\*アカデミー会員は、祿水苑の文化会員です。会員、入会についての詳細は、祿水苑にお問い合わせください。

この講座の詳細・お申込みはこちらをスキャン →



白鷹祿水苑文化アカデミー詳細・講座一覧はこちら →



『演者と巡る世阿弥』(後期) 受講お申し込み書 FAX 0798-39-0236 【2024年度後期】

氏名	ふりがな	電話	F A X
住所	〒		
メール			
一般		アカデミー会員【会員番号: <input type="text"/> 】	
		アカデミー入会希望	
2025年3月22日(土)			